

英語が飛び交う小学校化計画！

—様々な体験型活動を通して—

1. 設定理由

リオオリンピック大会の次は東京でオリンピック大会が開催される。日本を訪れる外国人は年々増加し、2016年には約2403万9000人もの外国人が日本を訪れた。そんな中、観光中の外国人に質問されたり道を尋ねられたりする機会がある。そうした時、一体どのくらいの日本人が突然英語で話しかけてきた外国人に対し、英語で相手の要求に応えることができるだろうか。

現在の外国語活動において、私の考える問題点は2つある。1つめは、週1回の外国語活動の時間だけでは、児童に実践的な英語力を定着させることは難しいということ。2つめは、高学年を担当する教員やそれ以外の教員にとっても、今後の外国語活動や外国語の教科化に対しての不安が大きいということである。そこで本研究では、外国語を用いた体験的な活動を取り入れ、学校生活の中で外国語を活用する機会が増えれば、児童や教員の外国語に対する興味・関心が高まり、外国語に対する抵抗感を軽減させることができるだろうと仮説を立て、検証していく。

2. 研究仮説

外国語を用いた体験的な活動を取り入れ、学校生活の中で外国語を活用する機会が増えれば、児童だけでなく教員も外国語に対する興味・関心が高まり、外国語を使うことへの抵抗感を軽減させることができるだろう。

3. 研究内容

- (1) 児童と教員の実態把握
- (2) 「英語が飛び交う小学校化」に向けての流れ
- (3) 児童と教員の変容
- (4) 考察

4. 結 論

○校内ウォークラリーを通じて、多くの教員と英語で交流し、覚えたセンテンスを実践的に活用することにより、児童は英語を話したり聞いたりすることに自信をもつことができた。

●教員の外国語活動への意識を変えるためには、校内ウォークラリーへの協力だけでなく、研修を行い、教員自身の英語力を高め、外国語活動への不安を解消していく必要がある。

英語が飛び交う小学校化計画！ 一様々な体験型活動を通してー

1. 設定理由

リオオリンピック大会の次は東京でオリンピック大会が開催される。日本を訪れる外国人は年々増加傾向にあり、2016年には約2403万9000人もの外国人が日本を訪れた。今後も益々外国人からの日本への注目は高まることだろう。外国人が日本を訪れる一番の目的は観光である。確かに観光地では外国人をよく見かけるようになった。そんな中、観光中の外国人に質問されたり道を尋ねられたりする機会がある。そうした時、一体どのくらいの日本人が突然英語で話しかけてきた外国人に対し、英語で相手の要求に応えることができるだろうか。

現在の外国語活動において、私の考える問題点は2つある。1つめは、週1回の外国語活動の時間だけでは、児童に実践的な英語力を定着させることは難しいということ。2つめは、高学年を担当する教員やそれ以外の教員にとっても、今後の外国語活動や外国語の教科化に対しての不安が大きいということである。そこで本研究では、外国語を用いた体験的な活動を取り入れ、学校生活の中で外国語を活用する機会が増えれば、児童や教員の外国語に対する興味・関心が高まり、外国語に対する抵抗感を軽減させることができるだろうと仮説を立てた。日々のとりくみとしては、朝の歌や健康観察を英語で実施する。また、教室内に単語カードを貼り、英和辞書を教室に置いて児童が英単語にも興味をもてるようにする。そして外国語活動の時間に習った英語を活用した校内ウォークラリーを継続的に実施することで、学習した英語を使う機会を増やしたり、仲間と協力してミッションをクリアしたりすることで外国語への興味・関心を高め、児童に英語がより定着しやすくしていく。そして、校内ウォークラリーへの協力を通じて、教員の外国語活動への意識を高めることにも繋げることができるだろうと考える。

このように、学校生活の中に教員と児童が英語で会話する機会をつくることで、実践的な外国語活動が可能になり、学級担任や学級内の児童どうしでのやりとり限定されず、より多くの人との英会話が可能になる。これらのことを継続的に取り組んでいくことで、児童だけでなく教員も外国語に対しての抵抗感を軽減させることに繋がられるか検証していく。テーマである「英語が飛び交う小学校化」のここでの定義は、「学校生活の中で、児童と教員が外国語活動の時間以外でも気軽に英語を使えるようにすること」とする。

2. 研究仮説

外国語を用いた体験的な活動を取り入れ、学校生活の中で外国語を活用する機会が増えれば、児童だけでなく教員も外国語に対する興味・関心が高まり、外国語に対しての抵抗感を軽減させることができるだろう。

児童の外国語に対する興味・関心を高め、外国語に対しての抵抗感を軽減させるためには、英語を使うことに慣れることだと考える。そのために、「英語が飛び交う小学校化」へ向けての3つの手立てとして、まず、朝の会での健康観察や歌を英語で実施することで毎日英語を使う時間を確保する。二つめに、教室内に英和辞書を置き、教室内の物に英単語カードを貼って自分たちで英単語の意味を調べたり、アルファベットに親しめたりするなど、常に英語が身近にあるようにする。三つめに、単元終了ごとに単元で習ったセンテンスを使った校内ウォークラリーを行い、学級担任や児童以外とも英語で話す機会を作り、より実践的な場で英語を使う活

動を行う。この活動を通じて、自分の英語が相手に伝わることや相手の言ったことがわかることで児童自身の中の英語が話せる、わかるという実体験を伴った自信へと繋げていく。また、教員に対しても校内ウォークラリーでの児童との英会話を通じて、外国語活動に関わる機会を作ること、今後の外国語活動への意識の変化が期待できだろうと考える。活動の工夫としては、校内ウォークラリーで集めた情報は、年度末のイングリッシュクイズ大会で活用できるようにすることで、児童がより意欲的に多くの教員とコミュニケーションを図ることができるようにしていく。

以上、3つの手立てを1年間継続して行うことにより、英語を使うことに慣れ、英語への低抗感を軽減でき、児童が積極的に発表したり英語で話しかけたりすることができるようになるだろうと考える。

3. 研究内容

(1) 児童と教員の実態把握

①外国語に関する本校5年生を対象にしたアンケート結果による実態把握

資料1 本校5年生児童と市内5年生児童との比較（一部抜粋）

〔2016年7月 本校児童（130人）と2017年7月 市内11校の児童（671人）〕

質問内容	選択肢	人数	割合	市内小学校割合
④英語を話したり聞いたりできるようにになりたいですか？	とてもになりたい	94人	72.3%	62.7%
	まあまあになりたい	25人	19.3%	22.5%
	そうでもない	9人	6.9%	7.6%
	できなくていい	2人	1.5%	6.6%
⑤外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？	よくしている	23人	17.7%	15.4%
	まあまあしている	54人	41.5%	31.9%
	あまりしていない	43人	33.1%	29.4%
	全然していない	10人	7.7%	23.1%

資料1の結果から、英語を身に付けたいと強く望む一方で、「⑤外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？」という問いに対しては、約4割の児童ができていないと答えている。本学級の外国語活動の時間を見ている、発表する時に手が挙がらなかったり、Activityの際に自信がなさそうに英語を話したりする児童や友だちに教えてもらったりしている児童の姿が見られた。別紙**資料2**からも、英語に対して「難しい・わからない」と感じている児童が見られる。

②外国語活動に対する本校教員の意識調査

別紙**資料3**から、今後の外国語活動に対する期待感は最高値以外ほどの項目も同じくらいの割合になっている。その背景には、教員自身の英語力や外国語活動への認識の差によるものだろうと予想される。

資料1～3の結果から、「外国語を用いた体験的な活動を取り入れ、学校生活の中で外国語を

活用する機会が増えれば、児童だけでなく教員も外国語に対する興味・関心が高まり、外国語に対しての抵抗感を軽減させることができるだろう。」という仮説を検証するために「英語が飛び交う小学校化計画」を1年間実施し、児童・教員の変容から仮説を検証していく。

(2)「英語が飛び交う小学校化」に向けての流れ

①朝の会での活動

- ・毎朝の健康観察を英語で実施する。

I'm Kenta.
I'm fine!



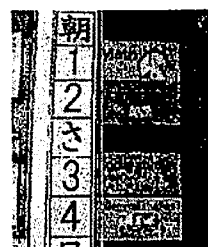
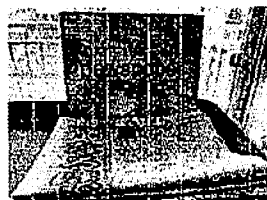
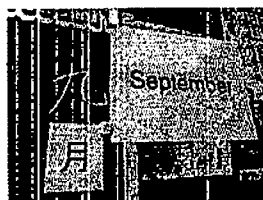
- ・朝の歌ではディズニー映画「ズートピア」の主題歌「Try everything」を英語で歌う。



I won't give up, no I won't give in.
Till I reach the end.
And then I'll start again.

②英単語カードの活用

教室に英和辞書を置き、自分たちで英単語の意味を調べたり、教室の物に英単語カードを貼ってアルファベットに親しめたりできるようにする。



③校内ウォークラリーの計画

日時	Hi, friends! 1 の単元	校内ウォークラリーの活動内容
7月初め	Lesson1 「Hello!」 Lesson2 「I' m happy.」	①「全校の先生と Let' s あいさつ!」 自己紹介をして、相手の気分を聞く。
9月初め	Lesson 3 「How many?」	②「リンゴを 100 個 Get しよう!」 持っているリンゴの数を聞く。
9月下旬	Lesson4 「I like apples.」 Lesson5 「What do you like?」	③「Let' s インタビュー!」 好きな食べ物、生き物、スポーツ、色、形などを聞く。
10月下旬	Lesson6 「What do you want?」	④「アルファベット表を完成させよう!」 アルファベットのシール集めをする。
11月下旬	Lesson8 「I study Japanese.」	⑤「とつげき! となりの日課表!」 各学級の時間割を聞く。

12月上旬		「クリスマスカードを送ろう！」 これまでに集めた情報を活用して先生方にメッセージカードを送る。
1月下旬	Lesson9 「What would you like?」	⑥「ビストロ5年3組」 先生方に好きな食べ物をインタビューして、フルコースを考える。
2月下旬	Lesson7 「What's this?」	「イングリッシュクイズ大会！」 これまでに集めた情報を使って、「Who am I?」クイズを作る。

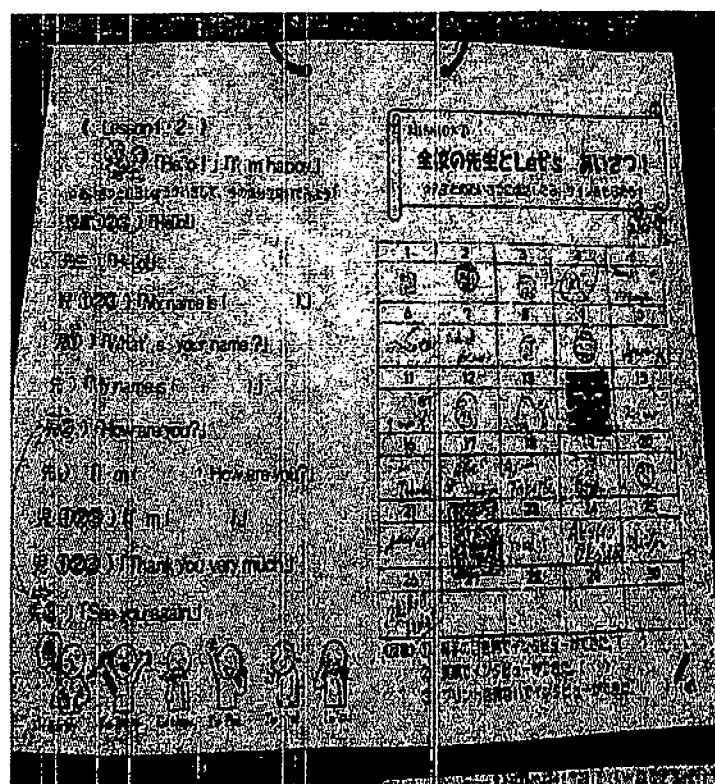
・校内ウォークラリーの活動に至るまでの流れ

- 1) 「Hi, friends! 1」にもとづいて活動内容を考える。
- 2) 児童に情意面のアンケートを実施し、調査から学習意欲の低・中・高位層の児童がそれぞれ一人ずつ入るようにグループを編成する。
- 3) 打ち合わせで教員に活動内容を周知し、協力を要請する。
- 4) 活動日当日、業間休みを使って児童はミッションカードを持って活動に行く。
- 5) 活動が終了したら、反省を書く。

1チーム3人で7月実施のアンケートの情意面の調査から学習意欲の低・中・高位層の児童がそれぞれ1人ずつ入るように編成する。これは、意欲の高い児童が3人のチームが常に勝つことがないよう、どのチームも公平に活動できるようにするためである。活動の際は3人でミッションカードを持ち、それぞれの教員にインタビューに行く。



↑校内ウォークラリーの児童と教員の様子



↑ Lesson1・2のミッションカード

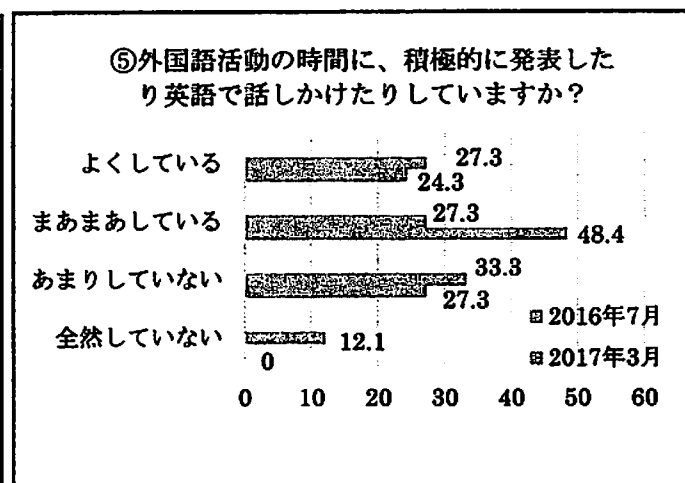
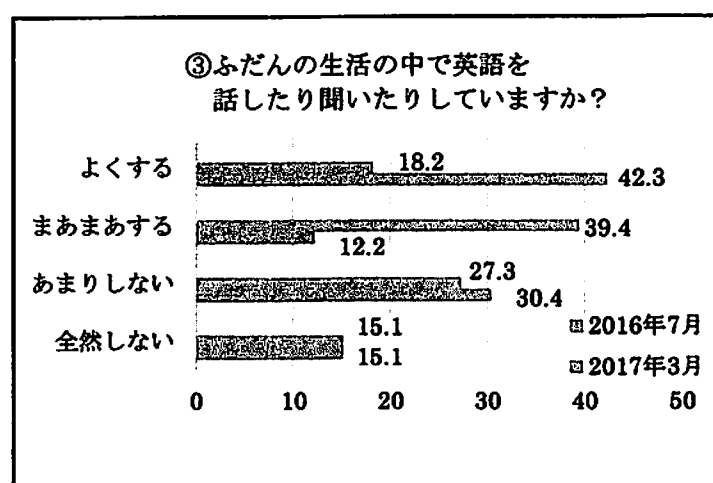
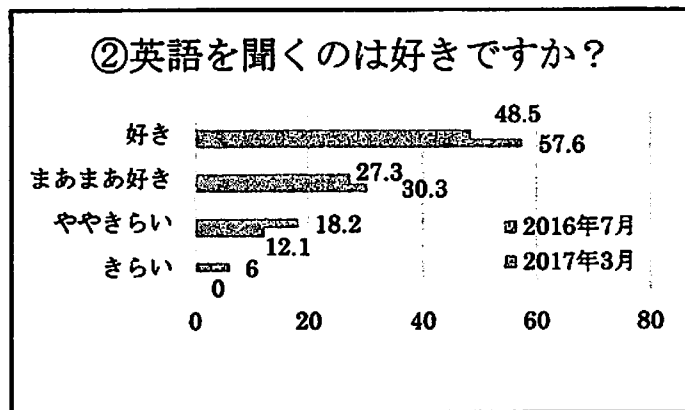
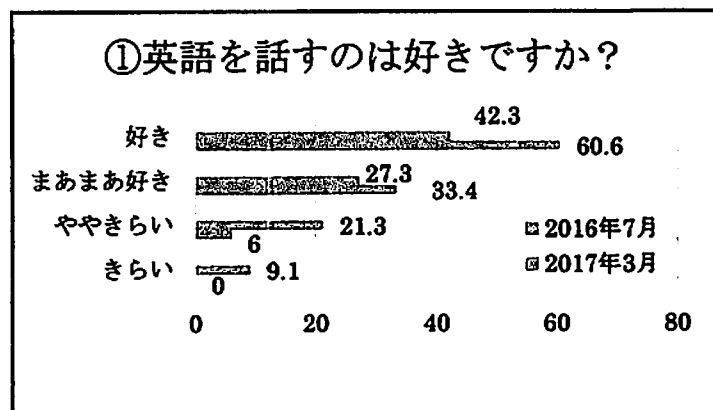
・ Lesson7 (2月下旬実施) の「イングリッシュクイズ大会」の授業展開

時 配	活動内容と活動	形 態	指導上の留意点と評価 (○留意点 ◇評価)	準 備
3	Greeting (あいさつ) 1 はじめのあいさつをする。 ・ 日付や天気を知る。	全	○月や曜日、天気等の言い方を楽しく確認しながら、外国語活動をする雰囲気作りをする。	
5	Songs (歌) 2 楽しく歌を歌う。 ・ 「ABC ソング」と 映画「ズートピア」の主題歌 「Try Everything」を歌う。	全	○「ABC ソング」は手遊びをさせながら、楽しくアルファベットを発音させる。 ○英語と日本語の字幕付きの映像を見ながら、外国語の発音に気をつけて楽しく歌わせる。	CD
5	Review (復習) 3 単語表現の練習をする。 ・ Hint1.I like ~.Who am I? ・ You are ~.	全	○単語カードを使って、前時までに学習した英単語の表現を思い出させる。 ○「ヒント1、私は～が好きです。私はだれでしょう。」「あなたは～です。」の表現の復習をして、本時の活動がスムーズにできるようにする。	単語 カード
2	Today's topic (本時の内容) 4 本時のめあてを確認する。 Who am I?	グ	◇ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。 (発言)	
25	5 先生に関するヒントを3つ出し、他のチームがそれを当てるゲームをする。 ・ チームごとに先生に関するヒントを3つ出す。 ・ 見ているチームはヒントをもとに先生がだれなのか考えて答える。	個 全	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○一人1回質問できる機会を設けることで、全員が英語を使って尋ねる場面を設定する。 ○クイズ形式で先生を当てさせることで、3つのヒントをしっかりと聞き取ろうとする意欲を高める。 ◇ある物が何かと尋ねたり答えたりしている。(発言)	ふり 返し カード
4	Ending (終わり) 6 本時の内容をふり返し、ふり 返しカードを記入する。		【外国語への慣れ親しみ】 ○活動への自己評価をさせるためにふり 返しカードを記入させる。	
1	7 終わりのあいさつをする。			

(3) 児童・教員の変容

資料4 「英語が飛び交う小学校化計画」後の本学級児童の変容（一部抜粋）

〔2016年7月と2017年3月 本学級児童（33人）〕



①外国語活動に対する本校児童の変容

資料4から1年間の活動を通して児童の①②「英語を話す・聞く」と⑤の「外国語活動への積極性」の項目は向上させることができた。しかし、③の問いでは、この活動によって普段から英語を使うようになったと感じる児童と相変わらず使っていないと感じる児童に分れていることが判明した。

別紙資料5の結果から、校内ウォークラリーによって児童の外国語活動に対する意識が変容したことがわかる。多くの児童が校内ウォークラリーの前後で自分の中で変わったことがあると自覚している。その理由で多かったのは、「英語が話せるようになった」や「英語が苦手だったけど得意になった」など肯定的な意見である。

②外国語活動に対する本校教員の変容

別紙資料7から「英語が飛び交う小学校化計画」を通じての教員の変容は児童ほど大きくは見られないことがわかる。今後の外国語活動に対する不安感はやや解消傾向にあるが、期待感はいまだ変わっていない。この結果から、校内ウォークラリーへの協力だけでは、教員の外国語に対する期待感を高めることには繋がらないことが判明した。

(4) 考察

「英語が飛び交う小学校化計画」を1年間実施した成果として、学習指導要領の目標である「①外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。②外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。③外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。」の3つの柱を概ね達成することができた。特に、目標の②③において、校内ウォークラリーでは、教員を相手に授業で習ったセンテンスを使い、グループで協力してミッションをクリアしていくことで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることができた。また、普段の外国語活動の授業で扱った基本的なセンテンスをもとに校内ウォークラリーを計画することで、日頃からの児童の学習意欲を高め、最後の実践(校内ウォークラリー)へと繋げていくことができた。その結果、児童の「英語を話すこと・聞くこと」や「外国語活動への積極性」の意識を向上させることができた。

一方、教員の外国語に対する意識の変容は、児童ほど数値が伸びないという結果に終わった。その背景として予想されるのは、年数回の校内ウォークラリーへの協力だけでは、教員の英語力向上や今後の外国語活動への不安の払拭のきっかけには繋がらなかったということだ。私は、小学校の外国語活動の指導に高度な英語の知識やネイティブのような発音は必ずしも必要ではないと考える。ある程度のクラスルームイングリッシュを身に付け、教員も児童と一緒に外国語活動を楽しむことが重要だ。とは言え、教員の外国語に対する意識を向上させるには、個々の英語力の向上や外国語活動の指導方法など具体的かつ継続的な働きかけが必要なのだろうと感じる。今回の「英語が飛び交う小学校化計画」によって、英語を使って児童と教員がコミュニケーションを行ったことは両者にとって大きな成果があったと言える。ただ、より効果的な成果を上げるためには、活動のさらなる工夫が必要であると言えるだろう。

現在の日本では、英語は英語として学ばれているに過ぎず、英語が第二言語として扱われている国と比較すれば、日常生活における英語の必要性は極めて低いと言える。だからこそ、学校という環境においては、英語を使う機会を設けることで、児童が英語を使うことに慣れたり、英語を使って他者を理解したりという経験をさせることが重要だと考えている。ただ、児童に日頃から英語を話している、聞いているという認識をもたせるためには、学校全体を巻き込んださらなる環境作りが必要であるし、児童自らがもっと英語を話したい、と思えるような活動のアイディアを模索し続ける必要がある。

4. 結論

(1) 成果

○校内ウォークラリーを通じて、多くの教員と英語で交流し、覚えたセンテンスを実践的に活用することにより、児童は英語を話したり聞いたりすることに自信をもつことと、英語という言語を使って、他者を理解する実体験をすることができた。

○今後の外国語活動の教科化に向けて、教員一人ひとりが考えるきっかけとなった。

(2) 課題

●児童に日頃から英語を話している、聞いているという認識をもたせるためには、さらなる活

動の工夫が必要である。

- 教員の外国語活動への意識を高めるためには、校内ウォークラリーへの協力だけでなく、外国語活動でのクラスルームイングリッシュや指導方法などの実践的な研修を行い、教員自身の英語力を高め、外国語活動への不安を解消していく必要がある。

【主な引用・参考文献】

- ・「年別 訪日外客数、出国日本人数の推移」 日本政府観光局ホームページ
- ・「初めての教育論文」 野田敏孝 著

資料編

資料 1 (1) 本校 5 年生児童と市内 5 年生児童との比較

〔2016 年 7 月 本校児童 (130 人) と 2017 年 7 月 市内 11 校の児童 (671 人)〕

質問内容	選択肢	人数	割合	市内小学校割合
①英語を話すのは好きですか。	好き	54 人	41.5%	23.7%
	まあまあ好き	44 人	33.9%	45.0%
	ややきらい	27 人	20.8%	16.8%
	きらい	5 人	3.8%	12.8%
②英語を聞くのは好きですか。	好き	58 人	44.6%	35.9%
	まあまあ好き	41 人	31.5%	34.7%
	ややきらい	24 人	18.5%	15.6%
	きらい	7 人	5.4%	12.2%
③ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？	よくする	34 人	26.2%	23.7%
	まあまあする	35 人	26.9%	24.6%
	あまりしない	30 人	23.1%	27.6%
	全然しない	31 人	23.8%	22.6%
④英語を話したり聞いたりできるようになりたいですか？	とてもになりたい	94 人	72.3%	62.7%
	まあまあになりたい	25 人	19.3%	22.5%
	そうでもない	9 人	6.9%	7.6%
	できなくていい	2 人	1.5%	6.6%
⑤外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？	よくしている	23 人	17.7%	15.4%
	まあまあしている	54 人	41.5%	31.9%
	あまりしていない	43 人	33.1%	29.4%
	全然していない	10 人	7.7%	23.1%

資料 2 ②上記項目の否定的な回答の主な理由 (2016 年 7 月 本学級児童より抜粋)

質問内容	否定的な回答の理由	人数
①英語を話すのは好きですか。	ややこしい・難しい	5 人
	話すことができない	5 人
②英語を聞くのは好きですか。	何を言っているかわからない	4 人
③ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？	話すことができない	5 人
	回りに話せる人がいない	2 人
⑤外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？	英語がわからない・話せない	9 人
	自信がない・苦手	5 人
	まちがえたらいやだ・はずかしい	1 人

資料3 外国語活動に対する教員の意識調査〔2016年7月 本校教員（35人回答）〕

質問内容	選択肢	人数	割合
①英語を話したり聞いたりするのは好きですか。	好き	6人	17.1%
	まあまあ好き	18人	51.4%
	ややきらい	10人	28.6%
	きらい	1人	2.9%
②これまでに児童に外国語活動の指導はしたことがありますか。	ある	23人	65.7%
	ない	12人	34.3%
③ ②で「ある」と答えた方は、外国語活動の指導をしてみてどうでしたか。			
二十代（十三名）	・難しかった。 ・ゲーム中心だったから児童に力は身に付いていたかはわからない。 ・映像資料を使っているが指導方法がわからず音声資料中心の授業になってしまった。 ・授業の流し方が難しい。英語の歌など身近な曲を紹介してもらいたい。 ・日本語で補足説明しないと伝わらないことがあって、これではいけないと感じた。 ・発音に自信がない。		
三十代（五名）	・英語を話せないから日本語の授業になってしまう。 ・準備が大変なのでパソコンに頼ってしまう。 ・Hi, friends!やその映像をPCで見せたりして指導を行ってきたが、なかなか1時間授業をしっかりと組み立てて行うことができなかった。 ・Hi, friends!にリンクした掛け図のようなもの、掲示用カードが充実していると助かる。 ・指導方法、授業の流れ、わからないことだらけだった。		
四十代（十名）	・教材、教具、音源などがあったから何とか指導ができた。 ・発音に迷いがある。 ・子どもが恥ずかしがっていた。 ・指導方法が分からない。英語自体分からない。 ・指導方法がわからなかった。英語力に不安があるから映像教材に頼ってしまった。 ・初めは、どう指導すればよいのか戸惑った。授業の流し方やアイディアなどの研修があれば有難いと思った。 ・Hi, friends!の指導書、PCの資料の使い方（流し方）などがわかりにくかった。		
五十代（七名）	・子どもたちは楽しく参加していたからよかった。 ・他教科のような共通した年間計画が立てられず、指導方法がわからなかった。単語だけの学習から、急に会話で活動するようになって、難しかった。 ・毎日1回は例文を発音するなどの練習が必要だと思った。 ・英語は苦手ですが、「遊び」の要素が多かったから楽しみながら行った。 ・毎週、毎日…などに実施ではないから、定着したかどうかかわからず、楽しく遊んでいるだけのような気がした。		

④今後、外国語活動が「5、6年生は週3コマ程度教科で行う。」ことや「外国語活動を小学3年生より行う。」ことになりますが、このことについてどう思いますか。	期待している 5	3人	8.5%
	4	8人	22.9%
	3	9人	25.7%
	2	8人	22.9%
	1 不安である	7人	20%
二十代	〈理由〉 ・今までゲーム等を活用して「外国語に親しむ」ことを中心にしていたが、教科化されてどのように変わるかが非常に楽しみ。 ・小さい頃から慣れておくことで外国語に対する対抗が少なくなると思う。 ・外国語はこれから先、必ず必要となってくる教科だから。 ・うまく指導できるか心配。 ・小学校の頃から外国語に触れることは大切だと思うが自分が教えられるかは不安。 ・授業の流し方が知りたい。苦手だから不安。 ・外国語の必要性を考えると大変だが、期待している部分はある。 ・どんな内容を指導していけばよいかまだわからず、不透明なところがある。 ・自分自身が外国語活動に対して知識、理解の不足があるため。 ・自分が英語を話すことができないから指導できるかが不安。 ・自分の英語力がないので教えられるか不安。		
三十代	・しっかりした指導計画と教材の必要性を感じる。 ・小中での連携の大切さを改めて感じる。 ・週3行うためには教員の研修やテキストがないと厳しいと思う。 ・どう評価するか自分も得意ではないから不安がいろいろある。		
四十代	・新しい活動で子どもたちは楽しく学べると思うが、職員（担任の先生）の負担が増えてしまうのかな…と心配。 ・正しい発音、指導方法が完璧ではないので心配。 ・どの程度まで学習するのか、また自分のスキルに不安がある。 ・評価方法が難しいと思うのでその点が心配。 ・全く自信がない。 ・指導者にどこまでのスキルが求められているのか。 ・全く未知の世界。早い時期から英語に触れることはいいことだと思うが、教師の負担も増えそうな気がする。 ・簡単な会話表現を身に付けることは大切だと思う。専科の先生を増やしてほしい。		
五十代	・小さい頃から英語に触れたほうがいい。 ・どの学校でも同じ活動ができるかどうか。発音するのが不安である。 ・英語が苦手で正しい発音や文章構成に自信がないため。「教科」として1時間展開することに自信がないため。 ・指導内容がよくわからないから不安も少しある。		

資料4 外国語に対する児童の変容〔2016年度 7月、3月 本学級児童（33人）〕

質問内容	選択肢	7月		3月	
		人数	割合	人数	割合
①英語を話すのは好きですか。	好き	14人	42.3%	20人	60.6%
	まあまあ好き	9人	27.3%	11人	33.4%
	ややきらい	7人	21.3%	2人	6%
	きらい	3人	9.1%	0人	0%
②英語を聞くのは好きですか。	好き	16人	48.5%	19人	57.6%
	まあまあ好き	9人	27.3%	10人	30.3%
	ややきらい	6人	18.2%	4人	12.1%
	きらい	2人	6%	0人	0%
③ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？	よくする	6人	18.2%	14人	42.3%
	まあまあする	13人	39.4%	4人	12.2%
	あまりしない	9人	27.3%	10人	30.4%
	全然しない	5人	15.1%	5人	15.1%
④英語を話したり聞いたりできるようにになりたいですか？	とてもになりたい	28人	84.9%	28人	84.9%
	まあまあになりたい	5人	15.1%	5人	15.1%
	そうでもない	0人	0%	0人	0%
	できなくていい	0人	0%	0人	0%
⑤外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？	よくしている	9人	27.3%	8人	24.3%
	まあまあしている	9人	27.3%	16人	48.4%
	あまりしていない	11人	33.3%	9人	27.3%
	全然していない	4人	12.1%	0人	0%

資料5 「校内ウォークラリー」前後の児童の変容〔2017年3月 本学級児童（33人）〕

質問内容	選択肢	人数	割合
⑥ミッション（校内ウォークラリー）はどうでしたか？	好き	27人	81.8%
	まあまあ好き	5人	15.1%
	ややきらい	0人	0%
	きらい	1人	3.1%
《「好き」「まあまあ好き」の理由》 楽しい・いろいろな先生と英語で会話ができる・いろいろなことがわかった・勉強になる・みんなと協力できる・英語がうまくなる			
《「きらい」の理由》 休み時間がつぶれる・先生が見つからない			
⑦ミッションの活動をする前と今とで、自分の中で変わったことはありますか。	ある	30人	90.9%
	ない	3人	9.1%

《「ある」と答えた人の理由》

簡単な単語でコミュニケーションがとれる・もっと積極的に話せるようになった・英語を話せるようになった・英語が苦手だったけど得意になった・話せる英語が増えた・自分から進んで話せるようになった・いろんな英語がわかるようになった・英語を話したり聞いたりできるようになった・英語が好きになった・新しく覚えた単語がたくさんあった・いろいろな先生に気軽に話せる・人との関わりが増えた・英語で会話する楽しさを知った

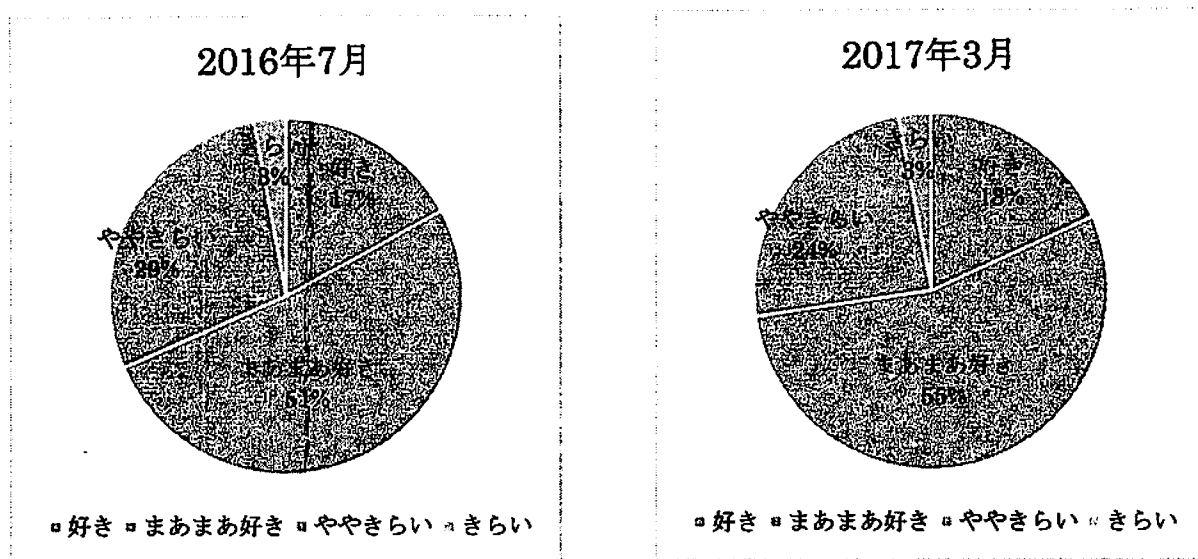
資料6 外国語活動に対する教員の意識調査 [2017年3月 本校教員(33人回答)]

質問内容		選択肢	人数	割合
①英語を話したり聞いたりするのは好きですか。	好き	6人	18.2%	
	まあまあ好き	18人	54.5%	
	ややきらい	8人	24.3%	
	きらい	1人	3.0%	
②今年度、5年3組児童とインタビュー活動をしましたか。	した	33人	100%	
	していない	0人	0%	
③ ②で「ある」と答えた方は、インタビュー活動をしてみてどうでしたか。				
二十代	・子どもたちが意欲的に取り組んでいる姿が印象的だった。英語を話し、聞くことを楽しんでいた。 ・発音やイントネーションも良く、上手にインタビューできていた。 ・楽しく色々な人と英語で会話できるから良いと思った。 ・英単語を思い出しながらだったが楽しかった。 ・英語を使って大人と話す良い機会だと思った。 ・子どもたちと英語で会話をするのは新鮮で楽しかった。 ・子どもに何を聞かれるのかドキドキした。力になっていると思った。 ・同じ5年担任として、自分も子どもたちにやらせてみたいと思った。			
三十代	・子どもが楽しんで色々な先生を探して、英語で話しかけている姿が印象的だった。 ・たくさん来てくれて楽しかった。学級の児童に「先生、英語話せるんだ、すごいね。」とほめられた。 ・苦手な英語だが、こちらも精一杯協力したいと思った。子どもたちに逆に教えてもらい、楽しく活動できた。			
四十代	・子どもたちの質問にしっかり答えなくてはと、こちらも緊張した。 ・来た児童は慣れない英語にも意欲的に使おうとしていた。 ・他の質問を英語ですると、アドリブで答える児童がいて楽しかった。 ・3年生のクラスの子どもたちも「自分もああなりたい。」と憧れていた。 ・自分の都合が悪くて「後でね。」と言ってしまって申し訳ないと思った。			
五十代	・子どもたちとふれ合うことができて楽しかった。 ・もっとレベルを上げてもいいような気がした。 ・みんな、よく言葉（英語）を知っていた。			

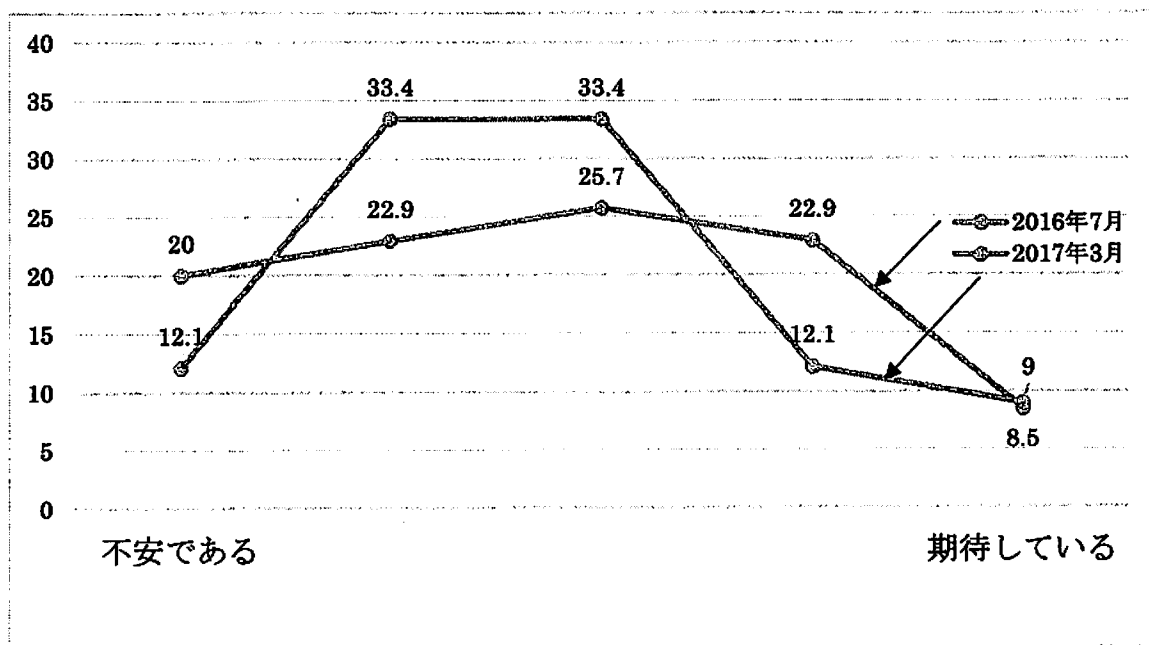
④今後、外国語活動が「5、6年生は週3コマ程度教科で行う。」ことや「外国語活動を小学3年生より行う。」ことになりますが、このことについてどう思いますか。		期待している 5	3人	9.0%
		4	4人	12.1%
		3	11人	33.4%
		2	11人	33.4%
		1 不安である	4人	12.1%
二十代	〈理由〉 ・英語が話せないから。楽しい活動を知らない。外国語の授業をしたことがない。 ・学習は早いことにこしたことはないと思うから、中学年から学ぶことは良いことだと思った。 ・英語を教えることに自信がない。 ・文法を小学3年生でどの程度理解できるか不安。 ・中学へ向けての良い準備になる。 ・自分の知識で子どもたちにどの程度指導できるか不安。 ・自分が英語を話すことについて自信をもって行うことができない気がした。 ・どの程度教えるのが担任によってずれてくるので、細かい打ち合わせが必要。			
三十代	・外国語の時間が増える分、他の教科の授業時数が削られることが不安。 ・小学生の早いうちの方が、英語は楽しんで覚えられと思った。 ・教師自体が英語に慣れていないから、指導できるのか不安。 ・テキストや資料などすぐに指導できるものがあるのか。 ・英語は苦手なのでとても不安。 ・子どもたちには良いと思うが、先生方の負担が増えるのでは…と心配。			
四十代	・自分自身に外国語活動の力がない。 ・教える自信がない。外国語専科がぜひほしい。日本語がままならないのに、外国語に時間を割いていくのは不安である。 ・評価をするのは嫌。ゲームや歌で楽しむ英語を小さいうちからしておけば発音も身に付くし、「英語は楽しいもの」というイメージをもっていた方が良いと思う。 ・専門の方（ALTや中学英語免許等の保持者）に指導していただいた方がよい。 ・教材研究を十分にする時間がない。専科（中学英語の免許をもった）でできるといい。 ・教師の負担が大きくなると思う。			
五十代	・発音に自信がない。 ・たくさんの国の人と交流するには必須の言語である。もっともっと英語を話す、活用する、聞く活動が必要。 ・小学生で初めて英語に触れる時こそ文法ではなくてネイティブな発音が大事だと思うがネイティブな発音ができない。 ・内容がよくわからない。 ・早くから始めた方がよいと思う。 ・言葉を知っていれば世界が広がる。			

資料7 外国語活動に対する本校教員の意識の変容をグラフ化したもの（一部抜粋）

①英語を話したり聞いたりするのは好きですか。



④ 今後、外国語活動が「5、6年生は週3コマ程度教科で行う。」ことや「外国語活動を小学3年生より行う。」ことになりますが、このことについてどう思いますか。



資料8 本校児童の変容① (2016年7月と2017年3月のアンケート調査より)

外国語活動に関するアンケート(7月)

(5の3)(24)番 (男・女) 氏名()

☆それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

4 3 2 ①
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語があまり好きではないから

② 英語を聞くのは好きですか？

4 3 2 ①
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語があまり好きではないから

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

4 3 ② 1
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) 英語があまり好きではないから

④ 外国語活動の時間に、積極的に発言したり英語で話しかけたりしていますか？

4 3 2 ①
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 英語があまり好きではないから

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようにになりたいですか？

4 ③ 2 1
とてもなりたい まあまあなりたい そうでもない できなくていい

(理由) 英語がわかるようにしたいから

外国語活動に関するアンケート(3月)

(5の3)(24)番 (男・女) 氏名()

☆それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

4 ③ 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語がわかるようになったから

② 英語を聞くのは好きですか？

4 ③ 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) わかるから

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

4 3 2 ①
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) 英語がわかるから

④ 外国語活動の時間に、積極的に発言したり英語で話しかけたりしていますか？

4 3 ② 1
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 英語がわかるから

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようにになりたいですか？

4 ③ 2 1
とてもなりたい まあまあなりたい そうでもない できなくていい

(理由) やくざから

⑥ ミッションはどうでしたか。

4 ③ 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語がわかるようになったから、楽しい、英語がわかるようになったから。

⑦ ミッションの活動をする前と今とで、自分の中で変わったことはありますか。ある/ない

(理由) 英語がわかるようになったから

⑧ 印象に残っているミッション - 1/5

(理由) 英語がわかるようになったから。

外国語活動に関するアンケート(7月)

(5の3)(9)番 (男・⑤) 氏名()

☆それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

4 ③ 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語は少しだけと話せるから。

② 英語を聞くのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語の発音がいいから。

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

4 ③ 2 1
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) 土曜日と日曜日に英語のテレビを見ているから。

④ 外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？

4 3 ② 1
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 英語の内容がわかるとよからず、時があるから。

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようになりたいですか？

④ 3 2 1
とてもなりたい まあまあなりたい そうでもない できなくていい

(理由) 英語を話せると外国人の人と話せて楽しいから。

外国語活動に関するアンケート(3月)

(5の3)(9)番 (男・⑤) 氏名()

☆それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語の後業が楽しかったから。

② 英語を聞くのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 意味がわかるとめもしろいから。

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

④ 3 2 1
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) 朝にラジオで空を英語で聞いていた。

④ 外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？

4 ③ 2 1
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 友達と英語で話すとたのしいから。

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようになりたいですか？

④ 3 2 1
とてもなりたい まあまあなりたい そうでもない できなくていい

(理由) 英語を話せると役に立つから。

⑥ ミッションはどうでしたか。

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) いっしょに先生と英語のゲームが楽しかった。

⑦ ミッションの活動をする間と今とで、自分の中で変わったことはありますか。(ある・ない)

「ある」と答えた人は理由を書きましょう。

今まであまり英語が楽しくなかったけど、今は英語が楽しくて、英語を話せるようになった。

⑧ 印鑑に貼っているミッション - (リンゴを100個集める)

(理由) リンゴのシールをもらって、17個集めた。あと83個集めるのに頑張っている。

外国語活動に関するアンケート(7月)

(5の3)(28)番 (男)女 氏名()

★それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 覚えれば外国人と話せるから

② 英語を聞くのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 英語を聞くとき実生活にいいところがあるから

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

4 ③ 2 1
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) 最初は英語を生活で使えなかったから

④ 外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？

4 ③ 2 1
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 早く覚えたいから

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようになりたいですか？

④ 3 2 1
とてもやりたい まあまあやりたい そうでもない できなくていい

(理由) 英語で人と話したり仲良くなりたいから

外国語活動に関するアンケート(3月)

(5の3)(28)番 (男)女 氏名()

★それぞれの質問に対して自分の考えに近い番号に○をつけましょう。

そして、下のわくの中に理由を書きましょう。

① 英語を話すのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) しゃべれると気持ちいいから

② 英語を聞くのは好きですか？

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) 聞いてると覚えたくなるから

③ ふだんの生活の中で、英語を話したり聞いたりしていますか？

④ 3 2 1
よくする まあまあする あまりしない 全然しない

(理由) お兄ちゃんも英語が好きなので一緒に練習する

④ 外国語活動の時間に、積極的に発表したり英語で話しかけたりしていますか？

④ 3 2 1
よくしている まあまあしている あまりしていない 全然していない

(理由) 話している人を外国人だと思ってやっている

⑤ 英語を話したり聞いたりできるようになりたいですか？

④ 3 2 1
とてもやりたい まあまあやりたい そうでもない できなくていい

(理由) 先生の授業で英語が楽しくなったから

⑥ ミッションはどうでしたか。

④ 3 2 1
好き まあまあ好き やや好き 嫌い

(理由) いろいろな先生と会話かひきあうから

⑦ ミッションの活動をする回と今とで、自分の中で変わったことはありますか。(ある・ない
がある)と答えた人は理由を書きましょう。

英語が苦手だったけど得意になったから

⑧ 印象に残っているミッション - (what~do you like,

(理由) 先生の好きな食べ物サポーツがよかったから。

《 Lesson1・2 》



「Hello!」「I'm happy.」

☆あいさつと自己しょうかいをして、今の気分を聞いてみよう！

児童①②③)「Hello!」

先生)「Hello!」

児①②③)「My name is ()」

児①)「What's your name?」

先)「My name is ()」

児②)「How are you?」

先)「I'm (), How are you?」

児①②③)「I'm ()」

児①②③)「Thank you very much.」

児③)「See you again.」

《 Lesson3 》

「How many?」



☆持っているリンゴの数を聞いてみよう！

児童①②③)「Hello!」

先生)「Hello!」

児①②③)「My name is ()」

児③)「How are you?」

先)「I'm (), How are you?」

児①②③)「I'm ()」

児①)「Excuse me.」

How many apples do you have?」

先)「I have () apples.」

児②)「Please give me your () apples.」

先)「OK! Here you are.」

児①②③)「Thank you very much.」

児③)「See you again.」



3

5

8

1

20

MISSION①



全校の先生とLet's あいさつ！

☆先生とのあいさつに成功したら、サインをもらおう！

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30

《反省》① 相手の目を見てインタビューができた。()

② 笑顔でインタビューができた。()

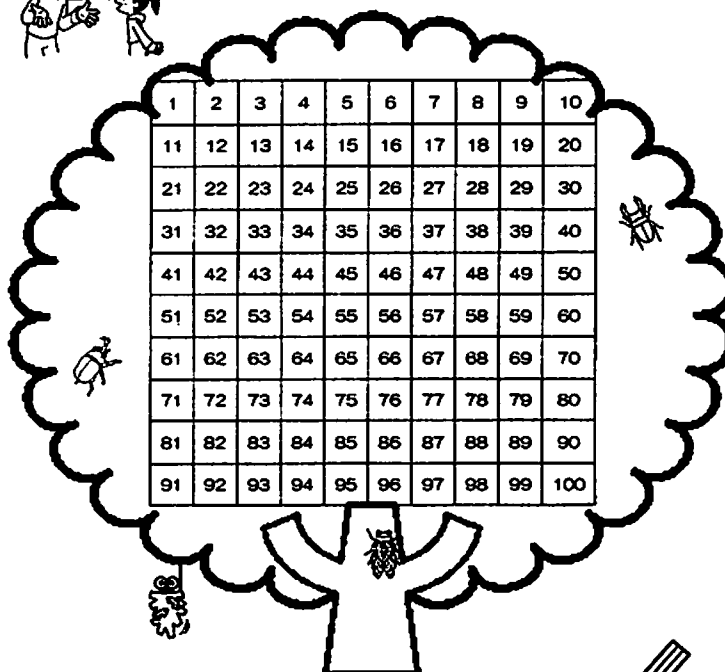
③ プリントを見ないでインタビューができた。()



MISSION②

リンゴを100個 Get しよう！

☆先生はいくつリンゴを持っているかな？



《反省》① 相手の目を見てインタビューができた。()

② 笑顔でインタビューができた。()

③ プリントを見ないでインタビューができた。()



《 Lesson4・5 》

「 What do you like? 」

☆好きなものをたくさん聞いてみよう！

児童①②③「Hello!」

先生「Hello!」

児①②③「My name is ()」

児③「How are you?」

先「I'm ()」

児①②③「I'm ()」



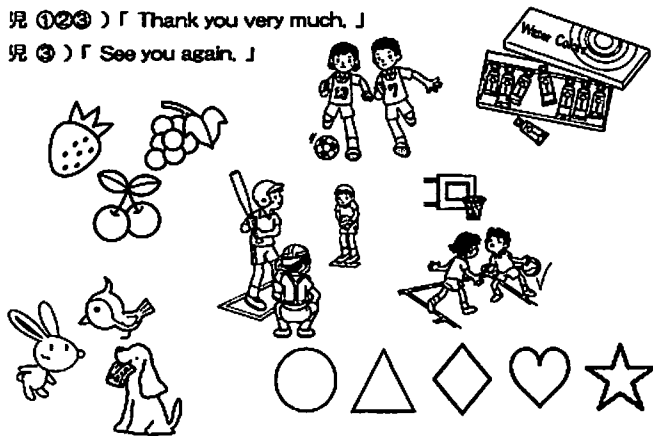
児「What do you like?」

fruit animal sport color shape

先「I like ().」

児①②③「Thank you very much.」

児③「See you again.」



MISSION③

Let's インタビュー！

☆先生たちの好きなものを調べよう！



Teacher	Question①	Question②	Question③

《反省》① 相手の目を見てインタビューができた。()

② 笑顔でインタビューができた。()

③ プリントを見ないでインタビューができた。()



《 Lesson6 》

「 What do you want? 」

☆先生からほしいアルファベットシールをもらってアルファベット表を完成させよう！

児童①②③「Hello!」

先生「Hello!」

児①②③「My name is ()」

児③「How are you?」

先「I'm (). How are you?」

児①②③「I'm ()」

先「What do you want?」

児「I want the (), please.」

先「Here you are.」／

「I don't have the alphabet.」

※ほしいアルファベットシールを答えられるのは、一人1回までです。

児①②③「Thank you very much.」

児③「See you again.」



MISSION④

Let's インタビュー！

☆先生の好きなものを調べよう！



アルファベット表					
					完成 シタカナ？

《反省》① 笑顔であいさつができた。()

② 相手の目を見てリクエストができた。()

③ プリントを見ないでできた。()



《 Lesson8 》

「 I study Japanese. 」



☆いろいろなクラスの日課表を調査して、1週間の日課表を作ろう！

児童①②③)「Hello!」 先生)「Hello!」
 児 ①②③)「My name is ()」
 児 ③)「How are you?」 先)「I'm (), How are you?」
 児 ①②③)「I'm ()」

児)「What do you study on []?」

Monday Tuesday Wednesday
 Thursday Friday

先)「First, (). Second, ().
 Third, (). Fourth, ().
 Fifth, (). Sixth, ().」

児 ①②③)「Thank you very much.」
 児 ③)「See you again.」

国語 (Japanese)、算数 (Math)、理科 (Science)、社会 (Social studies)、
 音楽 (Music)、家庭科 (Home economics)、書写 (Calligraphy)、
 体育 (P.E.)、図工 (Arts and crafts)、外国語 (English)、
 総合 (General studies)、道徳 (Moral education)、学活 (Classroom activities)

MISSION⑤

とつげき！となりの日課表！

☆他のクラスの日課表を調査しよう！



() 日課表	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Class					
1					
2					
3					
4					
5					
6					

- 《反省》① 笑顔であいさつができた。()
 ② しっかり質問することができた。()
 ③ 正しく日課表を聞き取ることができた。()

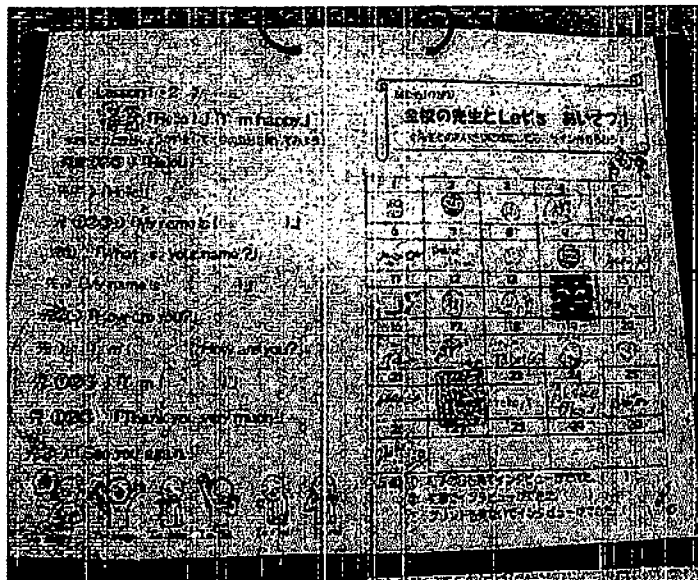


《 Lesson1・2 活動内容》

○準備

- ・ミッションカード (B4版の厚紙に上記のプリントを貼ったもの)
- ・ボールペン

- ① 先生を見つけたら、「Hello!」と元気に声をかける。
- ② お互い自己紹介をして、気分を聞く。
- ③ 最後に先生からサインをもらう。



《 Lesson3 活動内容》

○児童への準備

- ・ミッションカード (B4版の厚紙に上記のプリントを貼ったもの)
- ・ボールペン

○教員への準備

- ・直径8mmの丸シール

- ① 先生を見つけたら、「Hello!」と元気に声をかける。
- ② 児童は自己紹介をする。
- ③ 先生の持っているリンゴの数を尋ねる。
- ④ 先生がリンゴの数を言うので、いくつなのか手で数字を示す。
- ⑤ 先生はその数字が正しかったら、その数分のリンゴに見立てた丸シールを渡す。

《 Lesson4・5 活動内容》

○児童への準備

- ・ミッションカード (B4版の厚紙に上記のプリントを貼ったもの)
- ・ボールペン

- ① ミッションカードの「Question」①②③を

fruit animal sport color shape

から選んで記入する。

- ② 先生を見つけたら、「Hello!」と元気に声をかける。
- ③ 児童は自己紹介をする。
- ④ 先生の好きなものを尋ねる。
- ⑤ 先生の好きなものをミッションカードに記入する。

《 Lesson6 活動内容》

○児童への準備

- ・ミッションカード (B4版の厚紙に上記のプリントを貼ったもの)
- ・どの先生がアルファベットシールを持っているか知らせておく。
- ・連続して同じ先生にリクエストはしないようにする。

○教員への準備

- ・あらかじめ、11人の先生を選びアルファベットシールを渡す。
(11グループあるため)

- ① 先生を見つけたら、「Hello!」と元気に声をかける。
- ② 児童は自己紹介をする。
- ③ 先生からの質問に、ほしいアルファベットを答える。
- ④ そのシールがあれば受け取り、アルファベット表に貼っていく。
※同じ先生に対しては1日に一人1回までのリクエストとする。

《 Lesson8 活動内容》

○児童への準備

- ・ミッションカード (B4版の厚紙に上記のプリントを貼ったもの)
- ・ボールペン
- ・あらかじめ、日課表を聞きに行く5つのクラスを決めておく。

- ① 休み時間に学級担任のいる教室に入り、「Hello!」と元気に声をかける。
- ② 児童は自己紹介をする。
- ③ ミッション当日の曜日の日課表を聞き、ミッションカードに記入していく。
- ④ 教室を出る前に教室内に掲示してある日課表で、聞き取った日課表が合っているか確認する。



MISSION での注意

【MISSION に行く前に…】

★MISSION 可能時間：休み時間（さわかやタイム・のびのびタイム・※10分休み）

1. メンバー全員そろって行くこと。
2. MISSION カード、ボールペンなど忘れ物がないように確認する。

【MISSION 中…】

3. 先生方はお仕事中です。失礼のないようにする。(態度、言葉づかい、ろう下の歩き方など)
4. 職員室、南校舎1階ろう下でのインタビューは禁止です。
5. インタビューする時は、相手の目を見て英語で話をする。

【MISSION 後…】

6. 授業におくれないように教室にもどる。
7. 忘れ物がないようにして、MISSION カード、ボールペンなどをきちんと片付ける。
8. 担任の先生に報告することがあればする。